

施策分析シート

No1

施策名	バリアフリー化の推進	施策No	08-02	部課名	福祉部障害者福祉課		
				課長名	鈴木 仁	内線 2680	
関連部課名	土木部道路課						
行政評価事業体系	分野	健康・福祉・子育て					
	政策	誰もが安心して生活できる福祉のまちづくり					
目的	誰もが安心して生活できるため、様々なバリアフリー化を推進し、暮らしやすいまちづくりを行う。						
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
	①	歩道再整備率	27%	27%	29%	42%	実施延長／区道歩道設置路線延長
	②	コミュニティバス運賃補助者数	—	10,789	18,250	—	
	③	エレベーター補助実施数	0	0	1	—	整備駅箇所数
④							
現状と課題	<p>○障害者施策としては、南千住～町屋地域を運行するコミュニティバス「さくら」の運賃を障害者は無料とし、障害者の交通移動手段の確保を図る。また、鉄道駅においてはエレベーター整備補助を行い、障害者の垂直移動手段の確保を図った。</p> <p>○障害者の情報バリアフリーとして、障害別IT講習会の実施、プロジェクター等の整備を行い、障害者の情報バリアフリーに努めた。</p> <p>○道路計画事業として、日暮里中央通り・あやめ通りの歩道のバリアフリー化を図る。</p>						
今後の方向性	<p>障害者施策においては、コミュニティバスの様々な変更にも対応できるよう、障害者の移動手段の確保を充実させる。また、エレベーター整備補助については、区内各駅の整備状況等の把握に努め、整備計画等を把握する。</p> <p>道路計画としては、既存歩道の整備を図り、誰にでも使いやすい歩道を整備する。それらにより、より一層の暮らしやすいまちづくりが重要となる。</p>						

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	区民のだれもが安心して外出できるよう、駅や道路等のバリアフリー化を推進する。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
コミュニティバス障害者利用負担軽減	06-04-33	0	930	B	変更に対応できるよう実施する。
福祉のまちづくり・鉄道駅エレベーター等整備支援事業	06-04-55	-	-	A	多数の人が利用する駅において、障害者のみならずエレベーター整備は重要である。
障害者情報バリアフリー化推進事業	06-04-72	451	343	C	現状の規模で実施する。
あんしん歩行エリア整備費	10-02-17	8,190	55,650	A	だれもが安心して外出できるよう整備が重要である。
合 計		8,641	56,923		